

ムーフィー博士の

夫婦相談室

TPO別 愛のトラブル解決法



植西 聰

日本教文社

まえがき 離婚予備軍のみなさまへ

世は大離婚ブーム

平成十一年の離婚件数は、厚生省の調べによると、二十四万九千組だそうです。ということは、なんと約五十万弱の人たちが、この一年間で離婚をした計算になります。平成八年では約二十一万組、同五年では約十九万組……ということなので、これは年々増加傾向にあるわけです。

しかし問題は、離婚の数ではありません。たとえ離婚に至らなくても、最近よく「家庭内離婚」といわれる不和・不倫・別居などの夫婦間の不和まで勘定に入れると、かなりの数になるはずです。

つまり、離婚の数も増加したけれど、潜在的な離婚予備軍の数も急増中だと考えることができるのです。

ある女性誌が、結婚して五年たった妻一〇〇人を対象にして、ある調査をしたことがあります。それは「現在の夫に対してどう思っていますか？」という質問でした。

これに対して、実に多くの妻が「夫は冷たい」「夫と心が通っていない」「コミュニケー

シヨンが全く(ほとんど)とれていない」というような回答をよせてきたそうです。

家庭内離婚の原因は、若い夫婦の場合は、夫のマザコン、セックスレス、不倫、暴力、ドメスティック・バイオレンス、育児問題……などが一般的です。

熟年夫婦の場合は、ちよつと大変です。その理由が、妻の夫からの精神的独立だからです。夫にしてみれば、仕事仕事で、長年月、家庭や妻をかえりみない生活が当たり前となり、むしろ家に居るときのの方が不自然となり、ほとんど粗大ゴミ状態になって、居場所をなくしているのです。

悪いことに、この年代の夫は、「おい！ お茶、ふる、めし、寝るぞ」の典型的な主君タイプで、どこか妻を世話係のように思っているフシもあります。

そして最近、妻の逆襲がはじまりました。子供が育って結婚式を迎え、二人の旅立ちを成田空港で見送ったあと、

「じゃあ、あなた。これにハンコを押して下さいな」

とばかりに、唐突に離婚届けを差し出されるケースもあります。この類の妻は、長い間このような夫の態度に対し、「子供が成長するまでは……」と、がまんしてきたのです。

あるいは、第二の自分の人生をようやく見つけたせそうな気がして、夫に対し、自分の決意を突きつけようとするのです。

いずれにしても、一緒に住んでいながら、

「夫婦の間で、会話がほとんどないし、口を利くこともない」

「夫には、もう失望している」

「夫が家にいないとホツとする」

「夫の顔を見るのもイヤ」

「夫の洗濯物は、さわるのがイヤだから、ハシでつまんでいる」

「あの人は、もう夫ではなく、ただの同居人」

という妻側の主張が多いのです。

家庭内離婚の特集をやったテレビ番組に対して、通常の五倍以上もの電話やFAXが送られてくるそうです。この問題に対する、視聴者の関心の高さがよく表れています。というより、現実に多くの家庭で、夫婦間の不和が起こっている証明ではないでしょうか。

夫婦の仲の子育て

このような夫婦間のトラブルは、二人だけの問題ではありません。その影響は当然、子供にも及びます。

ある心理学者は、六歳まで、親がどのような接し方をしていたかによって、子供の性格や考え方が決まってしまう……と主張しています。幼児期に、両親の間にケンカが絶えな

かったり、離婚して片親だけで育てられたり、あるいは、あまり愛情を与えられずに育てられたり、虐待を受けたりすると、その子供の心には、深い傷(トラウマ)が残ってしまうケースが多いのです。

このトラウマがあると、成長するにつれ、引きこもりになったり、登校拒否をしたり、成人しても、心身症になったり、育児ノイローゼになったり、育児拒否や虐待さえ起こしてしまうケースがあるので。最近、多発している少年犯罪も、家庭環境に起因していると考えられます。つまり、ひとりの人間の人格に、決定的な要素を与える時期、それが六歳までの幼児期だということです。

ですから世の親たちは、このことに十分注意する必要があります。夫婦の不仲は、子供に悪い影響を与えたり、ひいては、社会に対しても悪い影響を与える可能性があるということです。

結婚って、軽いもの？ 重いもの？

さて最近ほ、

「夫婦の仲が悪かったら、離婚してスッキリした方がいいんじゃない？」
という声が多くなってきました。

「そんなにまでして、がまんする必要はない」

ということですよ。この流れにのって、女性の自立と離婚を、ワンセットで奨励する本も数多く出版されました。それに「離婚雑誌」も登場しました。インターネットでは、離婚のノウハウが紹介されています。

確かに、「家庭が崩壊したのなら別れた方がいい」とは、だれでも思います。わたしもそれに反対しません。しかし一方、離婚する前に、

「ちょっと待ってください！ 本当にそれでいいの？ もう少し考えてみたら？」
とも思います。

「夫婦の仲が悪くなったので、じゃあ離婚しよう」というのでは、

「結婚夫婦って、そんなに軽いもんですか？」

と、逆に思ってしまう。もちろん、軽はずみで「離婚しよう！」と決心する人は少ないでしょう。悩んだ末の決断だと思います。

しかし、そこからもう一步、よく考えてみるところに、わたしたち人間のすばらしさがあると思うのです。夫婦の仲が悪くなったのなら、どうしてそうなったのか、解決策はないのか……を、よくよく考えてみる。心のゆとりが欲しいのです。あまり短絡的に考えることをしないで、ちょっと冷静になって、根本的な原因を探ってみることをお勧めした

いのです。

いわば「愛の捜査」をしてほしいのです。この宇宙で起こる出来事には、必ず原因があるのです。原因があつて結果がある。これが宇宙の法則です。

もちろん、原因を探つた結果、どうしても解決が不可能だと思われる場合もあるでしょう。その場合は、離婚もやむを得ないのです。しかし一方、もう一度やり直しがきく結婚というのもあるはずですよ。

マーフィーの法則って？

では、どうやったら夫婦の関係がうまく修復されるのか？ わたしはその解決の方法として、有名な「マーフィーの法則」を用いて考えてみました。

マーフィーとは人の名前で、ジョセフ・マーフィー博士のことです。マーフィー博士は、もともとアメリカの牧師でしたが、精神科学を応用した独自の思想哲学を確立してから、著作家・教育家・講演家として世界的に活躍しました。人間の内面に潜在する 大いなる力 の存在に、人びとを気づかせました。

このマーフィー博士が提唱した「心の法則」が、一般的に「マーフィーの法則」とよばれるものなのです。

本書では、この法則を、夫婦関係の關係改善のために用いてみます。実はわたしも、この「マーフィーの法則」に関する本をすでに九冊も書いています。マーフィーの法則の研究には、ちよつと自信がありますし、また心理カウンセラーとして、相談者の問題解決にも、このマーフィーの法則を応用しています。だから、数多い実証もあります。

夫婦の問題ですつと悩んでいる方、離婚を考えている方、最後の決断する前に、ぜひ一度、本書に目を通してみてください。あるいは、結婚して二、三年たつて、ちよつと夫婦の間に「スレ違いがあるかなあ？」と感じはじめている方も、ぜひ本書をお読みください。さらに、これから結婚を考えている方も、ぜひお読みください。また、通常の人間関係で悩んでいる方にとつても、必ず何らかの参考になると思います。

もし本書を読まれて、円満な夫婦になられたならば、著者として、こんなに嬉しいことはありません。みなさんの幸せをお祈りしています。

最後に、本書の作成にあたっては、日本教文社の北島直樹氏にご協力いただきましたので感謝を述べます。

平成十二年六月

植西 聰

マーフィー博士の夫婦相談室 目次

まえがき 離婚予備軍のみなさまへ 1

世は大離婚ブーム 1

夫婦の仲と子育て 3

結婚つて、軽いもの？ 重いもの？ 4

マーフィーの法則つて？ 6

第一幕 TPO別 結婚生活相談室

19

Chapter.1 習慣・価値観が違つとき 20

好みが違う 20

違いは、すばらしい 21

波長が合うことが大事 23

(1) 趣味がまったく合わない二人 25

価値観が違えば敵味方 25

二人でラグビー 26

一人だけで楽しんで…… 27

趣味はそんなに大事？ 30

(2) 生活のリズムが違つ二人 32

異なる時間を生きている 32

かまわない夫 34

わたしが変わると、夫も変わった 36

(3) お金の使い方が異なる 39

正反対の二人 39

趣味にばかりお金をつかう 41

夫のためにお金をかせぐ 42

(4) セックスレスに悩んでいる 44

セックスを拒否する夫 44

「女がいるんでしょっ」 46

グチは女性をうつつとうしくする 48

(5) 変態趣味のある夫 50

几帳面で真面目な夫 50

変態趣味? 51

相手の長所をほめる 54

(6) 夫がマザコンだった 56

無口でおとなしい人 56

どこにでもついてくる母親 57

「すべてわたしのため」と解釈する 60

マーフィー博士のQ&A 62

わたしの人づき合いを夫が嫌がる 62

仕事をもつわたしに、転勤先についてきてくれと言つ夫

Chapter 2 浮気・不倫でトラブルするとき 67

不倫ブーム？ 67

浮気を仕向けていないか？ 68

夫の対応に不満 70

(1) 夫が会社の部下と不倫をしているとき 73

やさしい夫 73

あのやさしさが不倫を…… 75

不倫は葛藤を生む 76

(2) カルチャーセンターの講師との不倫 79

ありふれた結婚 79

刺激がほしい 80

幸せになれない恋 83

(3) 夫に飽きたときの不倫の誘惑 85

夫に飽きた 85

アメリカ人男性との恋 87

夫のよさを忘れてた 89

(4) 夫の風俗通いが発覚したとき 92

風俗は別物 92

性欲は、真に愛する人には向けない 95

(5) 夫が昔の恋人と会っている 98

今も学生気分⁹⁸
昔の恋人と歩いている？⁹⁹
本物の愛は、邪魔できない¹⁰²

マーフィー博士のQ&A¹⁰⁴

夫が女友たちと浮気している！¹⁰⁴
夫が女子高生と援助交際をしている¹⁰⁶

Chapter 3 家の問題でトラブルするとき¹⁰⁹

姑との葛藤に勝てる？¹⁰⁹

姑は教育係¹¹⁰

まともを受け取らない¹¹²

(1) 姑に「嫁いびり」を受けたとき¹¹⁴

新しい家族¹¹⁴

おとなしい彼¹¹⁵

夫の母親に、気に入られていない¹¹⁶

心を変える¹¹⁹

(2) 夫の両親と同居しなきゃならないとき¹²¹

同居してくれ！¹²¹

実の親も義理の親も同じ¹²³

同じように愛する¹²⁵

(3) 「バツイチの妻」として周囲のイジメにあるとき

離婚歴がある 127
バツイチといじめられる 128
保守的な慣習の中で 130
勝手にしろ！ 131
心が通じた 132

(4) 封建的な家柄で苦しむとき 134

旅先での出逢い 134
女は外に出るな 135
週末は、自由にやるわ 136
心が変われば相手も変わる 139

(5) ケチケチ主義の夫に嫌気がさしたとき 142

マイホームの夢 142
家を買つまでは…… 143
願いが一つになれば思いは伝わる 145

(6) 家同士の価値観が合わない 147

気の合う二人 147
気の合わない家 148
どちらもいい 149

マーフィー博士のQ&A 152

親戚つき合いを夫から強要される 153
夫の両親の面倒をみるのは大変だ 152

Chapter 4 子供でトラブるとき 156

子供は家庭を映し出す鏡 156

肯定的な言葉の教育 157

母親の意義 158

(1) 子供ができないので、夫や周囲の人から責められるとき 160

子供ができない 160

奇蹟 163

(2) 子供が生まれて、夫に関心がなくなつたとき 165

超ラブラブな二人が…… 165

夫はいらない 166

子供は親のものではない 168

(3) 夫が子供の面倒をちつとも見てくれないとき 171

早すぎる結婚 171

夫は、子供に無関心？ 172

願いが通じる 174

(4) 子供の教育方針が夫と合わないとき 176

順風満帆 176

環境の違い 177

子供の可能性を育てる 179

夫婦が別れるとき

182

精神的な離婚

183

不倫は 真実の愛 か？

187

(1) 夫が暴力をふるうとき

189

酒乱になる夫

189

実家へ逃げ帰る

191

暴力をふるう必要がなくなる

194

(2) 夫がギャンブルをやめてくれない

196

誠実な人

196

借金がふえる

198

パチンコよりもおもしろい趣味

199

(3) 夫が定職につかないとき

202

夢を追う夫

202

会社をやめた

204

離婚したい

205

まだ幸せな方？

206

(4) W不倫になつてしまったとき

209

常識人同士の結婚

209

わたしも外に出よう

210

一線を越える

211

恋という火遊び 213

マーフィー博士のQ&A 216

夫が自分勝手 216

第二幕 結婚はドラマだ 219

(1) 愛憎劇もエンターテイメント 220

米国TV中継の凄い中身 男と女の凄絶な口論風景 220
一般人が、プライベートを切り売りする文化 222

(2) 主婦、自己実現という舞台に立つ！ 223

主婦の自己実現願望 223
全部、人権問題に置き換える 224

(3) 亭主バツシング 226

夫が家庭にいない風景 226
亭主バツシング 227
リストラ離婚の主張 229

(4) 人はなぜ結婚するのか 231

結婚のリハーサル 231
ブランド婚 232
有閑マダム の 現在 233
結婚観は、生き方と同じ 235

専業主婦願望？ 236

「終幕」 仲よしごよしの宇宙論 239

人は、なぜ結婚するのでしょうか？ 240

子育てという大仕事 241

子供は、家庭環境を吸収しながら育ちます 242

夫婦と家族の意味 243

相思相愛の思想 245

装幀
装画

三嶽
開地
徹一

はかせ ふうふ そうなんしつ
マーフィー博士の夫婦相談室
べつ あい かいがくほう
TPO別愛のトラブル解決法

発行——平成12年 6月15日 初版発行

著者——^{うえにし あきら}植西 聰 < 検印省略 >
C Akira Uenishi, 2000



発行者——中島省治

発行所——株式会社 日本教文社
東京都港区赤坂9-6-44 〒107-8674
電話 03(3401)9111(代表)
03(3401)9114(編集)
FAX 03(3401)2656(編集)
03(3401)9139(販売)
振替 = 00140-4-55519
(ホームページ) <http://www.kyobunsha.co.jp/>

組版——レディバード

印刷——光明社
製本

ISBN4-531-06348-1 Printed in Japan

乱丁本・落丁本はお取替えます。
定価はカバーに表示しております。

R < 日本複写権センター委託出版物 >

本書の全部又は一部を無断で複写複製(コピー)することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡ください。